

# 令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算状況

令和5年度 第4回  
国保事業の運営に関する協議会  
資料 5

【表1】国民健康保険税令和3年度・令和4年度調定額と収納額 (円)

内訳	令和3年度保険税			調定額差引 (4-3)	令和4年度保険税			
	調定額	収納額	収納率		内訳	調定額	収納額	収納率
現年度分	2,218,718,600	2,160,289,814	97.4%	14,877,600	現年度分	2,233,596,200	2,169,969,183	97.2%
滞繰分	224,746,589	77,490,518	34.5%	-24,461,457	滞繰分	200,285,132	70,377,405	35.1%
計	2,443,465,189	2,237,780,332	91.6%	-9,583,857	計	2,433,881,332	2,240,346,588	92.0%

【表2】国民健康保険被保険者数等(各年3月31日現在)

	令和3年度A	令和4年度B	増減(B-A)	率(B/A)
被保険者数	23,060 人	22,088 人	-972 人	95.78 %
加入世帯数	16,238 世帯	15,701 世帯	-537 世帯	96.69 %

【表3】令和4年度歳入 (単位:円)

歳入	当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③	決算額 ④	対当初予算額 (4-1)	対予算 (4-3)	3年度決算額 ⑤	前年度増減 (4-5)	決算額と予算現額との差の説明 ④-③	前年度決算額との差の説明 ④-⑤
国民健康保険税	2,178,793,000	27,215,000	2,206,008,000	2,240,346,588	61,553,588	34,338,588	2,237,780,332	2,566,256	年度途中の歳入状況から増額補正をしたが、収納率向上により予算現額に対して増となった。	加入者が減少傾向ではあるが、一人当たりの調定額は増加しており、その結果前年度と同規模となった。
一部負担金	1,000	0	1,000	0	▲1,000	▲1,000	0	0	科目存置	
国庫支出金	1,000	0	1,000	5,394,000	5,393,000	5,393,000	8,854,000	▲3,460,000	マイナンバーカード健康保険証利用の申込み支援事業に係る交付決定を1月下旬に受けたため、予算現額との乖離が生じた。	新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少世帯に対し行った減免額の交付申請を特別調整交付金で行うことに変更されたことによる減少。
都支出金	7,496,284,000	▲1,479,000	7,494,805,000	6,978,329,645	▲517,954,355	▲516,475,355	7,249,730,931	▲271,401,286	補正額は主に都費補助金の確定により減額を行ったことによる。都支出金の大部分は歳出の保険給付費(医療費)を賄うために交付されるものである。	医療費の減少に伴い、交付金も減少した。
繰入金	1,541,007,000	70,379,000	1,611,386,000	1,601,295,636	60,288,636	▲10,090,364	1,416,096,435	185,199,201	償還金の増額が見込まれたため、その他繰入金について増額補正を行った。歳出の出産育児一時金が想定ほど伸びず、出産育児一時金繰入金もこれに伴い伸びなかった。	主に国保事業費納付金の歳出増に対応するため増額した。
繰越金	1,000	377,084,000	377,085,000	377,084,986	377,083,986	▲14	157,146,108	219,938,878	令和3年度決算が黒字となったため同額を補正し、予算どおりの執行となった。	令和2年度決算と令和3年度決算の黒字額の差。
諸収入	31,239,000	2,170,000	33,409,000	29,004,843	▲2,234,157	▲4,404,157	30,743,803	▲1,738,960	令和2年度国民健康保険事業費納付金(退職被保険者等)の精算額の返還通知を受けたため、増額補正した。保険税延滞金が想定ほど伸びず予算と乖離した。	国民健康保険事業費納付金(退職被保険者等)の返還額の差。
計	11,247,326,000	475,369,000	11,722,695,000	11,231,455,698	▲15,870,302	▲491,239,302	11,100,351,609	131,104,089		

【表4】令和4年度歳出 (単位:円)

歳出	当初予算額 ⑥	補正額 ⑦	予算現額 ⑧	支出済額 ⑨	予算残額(対当初 予算額) (6-9)	予算残額 (8-9)	3年度決算額 ⑩	前年度増減 (9-10)	予算現額と決算額との差の説明 ⑧-⑨	前年度決算額との差の説明 ⑨-⑩
総務費	91,146,000	1,019,000	92,165,000	83,925,034	7,220,966	8,239,966	85,257,625	▲1,332,591	補正額は、性別欄削除に要するシステム改修及び時間額会計年度任用職員の賃金改定に伴う経費。予算残額は主に郵送料が伸びなかったことにより生じた。	隔年で実施する保険証の一斉更新の実施年度ではなかったことにより、減少となった。
保険給付費	7,300,859,000	2,780,000	7,303,639,000	6,658,434,546	642,424,454	645,204,454	6,827,606,032	▲169,171,486	年度途中の執行状況により傷病手当金を増額補正した。医療費や高額療養費が見込みほど伸びなかったため、予算と決算に差が生じた。	医療費、高額療養費について前年度から減少したことによる。
国民健康保険事業費納付金	3,703,466,000	0	3,703,466,000	3,703,462,351	3,649	3,649	3,506,678,319	196,784,032	東京都が算定する納付金を通知により予算計上し、予算どおりの執行となった。	事業費納付金増加の差。
共同事業拠出金	3,000	0	3,000	159	2,841	2,841	149	10	一般被保険者から退職被保険者への切り替え対象者がいなかったため、予算と決算に差が生じた。	前年度と同規模の決算となった。
保健事業費	122,804,000	▲9,904,000	112,900,000	98,757,520	24,046,480	14,142,480	100,769,544	▲2,012,024	特定健康診査・特定保健指導について、年度途中の状況により減額補正したが、対象者・受診者・利用者が想定よりも少なかったこと等により予算残額が生じた。	特定健診受診者数、特定保健指導対象者及び利用者数ともに前年度と比べて減少したことによる。
公債費	41,000	0	41,000	0	41,000	41,000	0	0	令和4年度は借入れを行わなかった。	令和3年度及び令和4年度は借入れを行わなかったため。
諸支出金	26,007,000	481,474,000	507,481,000	503,105,444	▲477,098,444	4,375,556	202,954,954	300,150,490	令和3年度決算黒字分の一般会計への繰出及び国庫支出金確定精算等に伴う返還金の増額補正を行った。予算残額は還付金が想定よりも少なかったことによる。	前年度決算黒字分の一般会計への繰出及び国庫支出金確定精算等に伴う返還金の差。
予備費	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0	0		
計	11,247,326,000	475,369,000	11,722,695,000	11,047,685,054		675,009,946	10,723,266,623	324,418,431		

歳入計-歳出計	0	0	0	183,770,644	-	-	377,084,986	-
---------	---	---	---	-------------	---	---	-------------	---

(歳入-歳出)

183,770,644